

21 公益社団法人東京青年会議所

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	27年度取組実績
5. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(2) 普及・広報の充実	
<p>(1)女性が結婚し、子供を産み育てながら、社会に参画できる、仕事が継続できる、社会のシステムが必要です。そのために意識の改革を行っていきます。</p> <p>①家庭内意識の変革 家庭内で育児、家事をシェアするという文化をつくりまします。特に夫の協力を働きかけます。</p> <p>②地域内意識の変革 各地区において、子供と教育について議論し、その重要性を発信します。併せて、父親への働きかけを行います。</p> <p>③企業内で可能な行動 経営者自身が考え、経営者自身で行動できる当団体の特性を活用して、各企業に対して、子供を育てながら仕事が継続できるように様々な提案をしていきます。</p>	<p>①、②、③について昨年に引き続き啓発・普及運動を継続推進中。</p> <p>特に③において、今後のモデルケースとなるべく、「なでしこ会議」の役員メンバーは、7名のうち2名が子育て中、1名が既婚者のメンバーで構成され会議を進めていく。今まで、平日夜に行っていた会議を、休日日中にキッズルームがある会議室で行い、子連れOKにするなど新しい試みを実施。実際に子供がいるメンバーは子供を連れて参加ができることで、発言力が増すことを狙う。また、昨年に引き続き、デイリーな会議はfacebook・skypeを導入し、空中戦会議を実施予定。また我々の取り組みをfacebookページ「東京JCなでしこ」にて発信、当団体公式HPからもリンクする。</p>
<p>☆(2)男女共同参画の推進のためのシンポジウム等を開催します。</p>	<p>なでしこ会議のイベントとして、2月に東北復興支援チャリティーパーティーを開催。ゲストに東京青年会議所OBで東北の復興支援に従事されていた奥山氏をゲストに迎え、どのように復興支援のリーダーとして活動をされ、それを今後どのように私たちは生かすべきかを講演していただいた。</p> <p>3月は佐々木紀代議士にご案内を頂く、首相官邸訪問・国会議事堂見学を実施。平将明 内閣府副大臣にもお伺いさせていただき、女性として私達が出来る事・強みとは・運動や社会の為に何が出来るかなど、様々な意見をいただいた。</p> <p>また4月には、「なでしこ会議」も企画に携わり、「共生」をテーマにした東京青年会議所の例会を実施。多種多様な人種、環境に置かれた立場の方々から話を伺い、どのように共存していけるかを考える場を提供した。</p> <p>「日本の女性活躍推進を進めるために各国に学ぶ」をコンセプトに昨年に引き続き大使館勉強会をシリーズ化。第一弾として5月「アフガニスタン大使館勉強会」開催。イスラム国家における現状及び、女性活躍推進の現状についてご講演いただく。また、5月、フランス大使館で開催される「世界の医療団支援者の集い」によるチャリティーイベントに役員が出席した。</p> <p>同じく5月に、「日本文化を世界に発信することから女性躍進を考える」をテーマに「なでしこ茶会」を実施。東京国立博物館で約60名の方にお越し頂く。子連れや外国人OKとし、英語でも茶道を楽しんでもらった。</p> <p>7月は、世界各国からJCメンバーが集まる国際アカデミーのフェアウェルパーティーを実施。役員メンバーは着物を来て外国の要人をおもてなした。</p> <p>9月には、東京青年会議所の例会で(本年2回目の)「共生」をテーマにした事業を実施した。</p>